



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 青山商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8219 URL <https://www.aoyama-syouji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 理
 取締役兼常務執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部長兼 (氏名) 山根 康一 (TEL) 084-920-0050
 総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	76,804	14.4	△1,877	—	△438	—	△2,451	—
2022年3月期第2四半期	67,131	—	△7,059	—	△6,224	—	△7,586	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △1,715百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △7,249百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△49.20	—
2022年3月期第2四半期	△152.34	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	317,140	162,395	50.1
2022年3月期	322,725	164,501	49.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 158,956百万円 2022年3月期 161,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,300	13.5	7,300	234.7	9,000	74.7	3,600	166.5	72.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	50,394,016株	2022年3月期	50,394,016株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	554,013株	2022年3月期	572,892株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	49,827,533株	2022年3月期2Q	49,802,837株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託 (J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2023年3月期2Q 336,200株、2022年3月期340,600株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2023年3月期2Q 339,016株、2022年3月期2Q 359,333株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2022年11月16日 (水) に機関投資家及びアナリスト向け説明会 (Web) を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

2023年3月期の個別業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	125,600	12.5	3,900	980.1	5,800	87.8	2,100	12.4	42.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
3. (参考) 四半期財務諸表(個別)	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	10
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	12
4. 補足情報	13
(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高	13
(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	49,047	40,829	8,217	120.1	△3,427	△7,374	3,946	—
カード事業	2,518	2,431	86	103.6	1,147	1,162	△15	98.7
印刷・メディア事業	5,196	6,426	△1,230	80.9	6	△404	411	—
雑貨販売事業	8,027	8,247	△219	97.3	180	356	△175	50.6
総合リペアサービス事業	6,002	4,693	1,308	127.9	53	△582	635	—
フランチャイジー事業	6,219	4,880	1,338	127.4	409	△131	541	—
その他	888	812	76	109.4	△106	△121	14	—
調整額	△1,095	△1,189	94	—	△140	34	△175	—
合計	76,804	67,131	9,672	114.4	△1,877	△7,059	5,182	—

(注) セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、ウクライナ紛争の長期化や、急速な為替変動によるエネルギー価格の上昇、それに伴う物価高騰など、先行きが不透明な状況は依然として続いておりますが、新型コロナウイルス感染者数の減少などを受け、個人消費に持ち直しがみられました。

このような状況下、当社グループにおきましても、7月中旬以降の新型コロナウイルス感染症再拡大による一時的な集客の落ち込みはみられたものの、期間を通して行動制限や外出制限に繋がる規制が緩和されたこともあり、売上高が前年同期を上回る水準で推移したことなどから、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 768億4百万円(前年同期比114.4%)

営業損失 18億77百万円(前年同期は営業損失70億59百万円)

経常損失 4億38百万円(前年同期は経常損失62億24百万円)

親会社株主に帰属する四半期純損失 24億51百万円

(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失75億86百万円)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下のセグメント別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

[青山商事(株)、ブルーリパース(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司、メルボメンズウェア(株)]

当事業の売上高は490億47百万円(前年同期比120.1%)、セグメント損失(営業損失)は34億27百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)73億74百万円)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)ビジネスウェア事業につきましては、7月中旬以降の新型コロナウイルス感染症再拡大による一時的な集客の落ち込みはみられたものの、約2年間コロナ禍で停滞していた買い替え需要や行動制限緩和によるオケーション需要の回復が見られ、主力アイテムであるメンズスーツやフォーマルウェアの売上が前年同期を大きく上回ったことなどから、当第2四半期(4月～9月)のビジネスウェア事業既存店売上高は前年同期比122.6%となりました。

＜青山商事(株)ビジネスウェア事業の既存店売上・客数・客単価の前期比推移＞ (単位：%)

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期
売上	54.4	119.0	122.6
客数	75.0	100.9	114.0
客単価	72.5	117.9	107.5

なお、当第2四半期まで(4月～9月)のメンズスーツの販売着数は前年同期比112.3%の424千着、平均販売単価は前年同期比104.0%の27,589円となりました。

＜青山商事(株)メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期
販売着数(千着)	323	377	424
平均販売単価(円)	25,137	26,517	27,589

当第2四半期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(2022年9月末現在)＞ (単位：店)

業態名	青山商事(株)						青山洋服商業(上海)有限公司	メルボメンズウェア(株)
	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計	洋服の青山	麻布テーラー
出店〔内 移転・建替〕(4月～9月)	2〔2〕	0	0	1	0	3〔2〕	0	0
閉店(4月～9月)	5	2	1	1	1	10	7	5
期末店舗数(9月末)	699	45	5	9	1	759	15	27

- (注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。
 2. 青山洋服商業(上海)有限公司の出店・閉店は2022年1月～6月、期末店舗数は2022年6月末の店舗数であります。
 3. メルボメンズウェア(株)の出店・閉店は2022年3月～8月、期末店舗数は2022年8月末の店舗数であります。また、「麻布テーラー」には「テーラーフィールズ」を含めております。

なお、当社は、2022年4月1日付で(株)エススクエアードの発行済株式の全てを取得し完全子会社化したことに伴い、持株会社である(株)エススクエアード及びその傘下のグループ会社でありオーダースーツブランド「麻布テーラー」を展開するメルボメンズウェア(株)、メルボ紳士服工業(株)の計3社を連結の範囲に含めております。

また、当第2四半期連結会計期間において、(株)エススクエアードは、メルボメンズウェア(株)を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、経済社会活動の正常化に伴いショッピング収入が増加したものの、新規会員獲得を目的とした販促費の増加などにより、売上高は25億18百万円(前年同期比103.6%)、セグメント利益(営業利益)は11億47百万円(前年同期比98.7%)となりました。

また、資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入と社債の発行により調達しております。

＜カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移＞

	2021年8月期	2022年2月期	2022年8月期
有効会員数(万人)	416	411	404
営業貸付金残高(百万円)	51,918	53,446	51,778

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、印刷・販促関係の需要回復はあったものの、前年同期にあったデバイス端末の大口売上の反動などから、売上高は51億96百万円(前年同期比80.9%)、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)4億4百万円)となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、行動制限の緩和などによる巣ごもり需要減に加え、水道光熱費やキャッシュレス決済に伴う手数料など経費が増加したことなどから、売上高は80億27百万円（前年同期比97.3%）、セグメント利益（営業利益）は1億80百万円（前年同期比50.6%）となりました。

なお、2022年8月末の店舗数は116店舗（2021年8月末 111店舗）であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、経済社会活動の正常化に伴って、日本及び海外事業ともに需要が回復したことなどから、売上高は60億2百万円（前年同期比127.9%）、セグメント利益（営業利益）は53百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）5億82百万円）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

《総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（2022年9月末現在）》

（単位：店）

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店（4月～9月）	2	6	0	8
閉店（4月～9月）	16	2	0	18
期末店舗数（9月末）	264	311	34	609

（注）「オセアニア」はオーストラリア、ニュージーランド、「その他」はシンガポール、マレーシアであります。

《フランチャイジー事業》〔(株)glob〕

当事業につきましては、主にフードサービス事業において、前年同期にあった時間短縮営業や酒類提供の自粛等の影響の反動などから、売上高は62億19百万円（前年同期比127.4%）、セグメント利益（営業利益）は4億9百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億31百万円）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

《フランチャイジー事業における業態別の出退店及び期末店舗数（2022年9月末現在）》

（単位：店）

業態名	フードサービス事業		リユース事業		フィットネス事業
	焼肉きんぐ	ゆず庵	セカンドストリート	ジャンブルストア	エニタイムフィットネス
出店（4月～9月）	0	0	0	0	0
閉店（4月～9月）	0	0	0	0	0
期末店舗数（9月末）	39	13	16	1	6

《その他》〔(株)WTW、(株)カスタムライフ〕

その他の事業につきましては、売上高は8億88百万円（前年同期比109.4%）、セグメント損失（営業損失）は1億6百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億21百万円）となりました。

なお、2022年9月末の「ダブルティー」の店舗数は7店舗（2021年9月末 6店舗）であります。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年11月11日）公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異、通期業績予想及び配当予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,433	76,908
受取手形及び売掛金	15,312	9,401
商品及び製品	39,223	38,537
仕掛品	437	506
原材料及び貯蔵品	1,656	2,176
営業貸付金	53,446	51,778
その他	4,804	5,345
貸倒引当金	△116	△139
流動資産合計	188,197	184,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,382	34,743
土地	37,501	38,130
その他（純額）	11,094	10,762
有形固定資産合計	83,978	83,636
無形固定資産		
のれん	5,367	5,005
その他	5,601	5,294
無形固定資産合計	10,968	10,299
投資その他の資産		
敷金及び保証金	18,796	17,994
その他	20,968	20,885
貸倒引当金	△292	△287
投資その他の資産合計	39,471	38,593
固定資産合計	134,419	132,529
繰延資産合計	108	96
資産合計	322,725	317,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,715	9,243
電子記録債務	8,943	6,970
1年内償還予定の社債	50	50
短期借入金	30,461	19,919
未払法人税等	1,310	1,402
契約負債	1,815	1,792
賞与引当金	1,053	1,331
製品交換引当金	863	21
その他	13,636	12,451
流動負債合計	68,849	53,182
固定負債		
社債	22,045	23,020
長期借入金	48,389	59,530
退職給付に係る負債	9,272	9,574
その他	9,667	9,437
固定負債合計	89,374	101,562
負債合計	158,224	154,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,448	62,401
利益剰余金	53,069	50,216
自己株式	△1,583	△1,517
株主資本合計	176,438	173,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	721	1,023
繰延ヘッジ損益	24	71
土地再評価差額金	△15,136	△15,136
為替換算調整勘定	555	748
退職給付に係る調整累計額	△1,457	△1,355
その他の包括利益累計額合計	△15,293	△14,648
非支配株主持分	3,356	3,439
純資産合計	164,501	162,395
負債純資産合計	322,725	317,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	67,131	76,804
売上原価	34,734	38,213
売上総利益	32,397	38,591
販売費及び一般管理費	39,457	40,468
営業損失(△)	△7,059	△1,877
営業外収益		
受取利息	26	32
受取配当金	146	91
不動産賃貸料	1,177	1,015
デリバティブ評価益	—	161
為替差益	36	849
助成金収入	362	170
その他	371	207
営業外収益合計	2,121	2,528
営業外費用		
支払利息	173	154
不動産賃貸原価	877	902
デリバティブ評価損	24	—
その他	210	32
営業外費用合計	1,286	1,089
経常損失(△)	△6,224	△438
特別利益		
固定資産売却益	111	2
投資有価証券売却益	—	67
特別利益合計	111	69
特別損失		
固定資産除売却損	101	114
減損損失	350	856
投資有価証券売却損	—	2
災害による損失	2	8
特別損失合計	453	981
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,566	△1,350
法人税等	927	1,013
四半期純損失(△)	△7,494	△2,364
非支配株主に帰属する四半期純利益	92	87
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,586	△2,451

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△7,494	△2,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402	302
繰延ヘッジ損益	11	46
為替換算調整勘定	△241	194
退職給付に係る調整額	73	105
その他の包括利益合計	245	649
四半期包括利益	△7,249	△1,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,347	△1,806
非支配株主に係る四半期包括利益	98	91

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,874	45,506
商品及び製品	35,558	34,441
原材料及び貯蔵品	465	502
関係会社短期貸付金	10,797	10,847
その他	13,419	7,516
貸倒引当金	△5	△1
流動資産合計	106,110	98,812
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	25,120	24,585
土地	34,522	34,776
その他(純額)	7,675	7,488
有形固定資産合計	67,318	66,851
無形固定資産		
投資その他の資産	2,771	2,594
投資その他の資産		
投資有価証券	4,771	5,203
敷金及び保証金	17,173	16,022
その他	34,767	34,436
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	56,696	55,647
固定資産合計	126,786	125,092
繰延資産		
社債発行費	50	42
資産合計	232,947	223,947
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,510	5,420
電子記録債務	8,716	6,859
短期借入金	14,400	13,700
未払法人税等	532	561
契約負債	1,815	1,792
賞与引当金	491	797
その他	9,227	7,541
流動負債合計	42,695	36,673
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,300	24,950
退職給付引当金	6,516	6,796
その他	4,708	4,599
固定負債合計	46,525	46,345
負債合計	89,220	83,019

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2022年9月30日)
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,510	62,463
利益剰余金	34,637	31,481
自己株式	△1,583	△1,517
株主資本合計	158,068	154,932
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	723	1,062
土地再評価差額金	△15,065	△15,065
評価・換算差額等合計	△14,342	△14,003
純資産合計	143,726	140,928
負債純資産合計	232,947	223,947

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	40,041	47,169
売上原価	17,978	20,861
売上総利益	22,063	26,307
販売費及び一般管理費	29,699	29,511
営業損失(△)	△7,635	△3,203
営業外収益		
受取利息	46	50
受取配当金	742	725
不動産賃貸料	1,653	1,492
デリバティブ評価益	—	162
為替差益	34	540
その他	255	63
営業外収益合計	2,732	3,034
営業外費用		
支払利息	94	82
不動産賃貸原価	1,347	1,382
デリバティブ評価損	24	—
その他	178	20
営業外費用合計	1,645	1,485
経常損失(△)	△6,548	△1,654
特別利益		
固定資産売却益	50	0
特別利益合計	50	0
特別損失		
固定資産除売却損	51	84
減損損失	350	856
災害による損失	2	8
投資有価証券売却損	—	2
特別損失合計	404	951
税引前四半期純損失(△)	△6,903	△2,605
法人税等	156	149
四半期純損失(△)	△7,059	△2,755

4. 補足情報

(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日		当第2四半期 累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
			%	%			%
重衣料	スーツ・スリーピース	10,053	25.1	11,684	24.8	1,630	116.2
	ジャケット	1,284	3.2	1,560	3.3	276	121.5
	スラックス	2,637	6.6	2,811	6.0	174	106.6
	コート	96	0.2	89	0.2	△7	92.3
	フォーマル	5,661	14.1	7,697	16.3	2,035	136.0
	ベスト	189	0.5	296	0.6	107	156.6
	小計	19,923	49.7	24,140	51.2	4,216	121.2
軽衣料	シャツ・洋品類	7,649	19.1	8,988	19.1	1,339	117.5
	カジュアル類	1,028	2.6	1,154	2.5	125	112.2
	その他商品	3,124	7.8	3,729	7.8	604	119.3
	小計	11,802	29.5	13,872	29.4	2,069	117.5
レディス類	7,082	17.7	7,688	16.3	606	108.6	
補正加工賃	1,232	3.1	1,467	3.1	234	119.0	
合計	40,041	100.0	47,169	100.0	7,127	117.8	

(注) 1. その他商品は、靴・肌着・雑貨等であります。
 2. レディス類には、レディススーツやレディスフォーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれております。

(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数 (2022年9月末現在)

(単位：店)

地域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
北海道	32	1				33
北海道地方計	32	1	0	0	0	33
青森県	9					9
岩手県	8					8
宮城県	11	1				12
秋田県	9					9
山形県	9					9
福島県	10					10
東北地方計	56	1	0	0	0	57
茨城県	16					16
栃木県	10					10
群馬県	13	1				14
埼玉県	39	3	1			43
千葉県	34	3	1			38
東京都	63	12	1	3		79
神奈川県	36	3	2			41
関東地方計	211	22	5	3	0	241
新潟県	16	1				17
富山県	6					6
石川県	6	1				7
福井県	5					5
山梨県	4					4
長野県	12					12
岐阜県	12					12
静岡県	26					26
愛知県	39	1		1		41
中部地方計	126	3	0	1	0	130

(単位：店)

地 域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
三重県	11					11
滋賀県	10	1				11
京都府	16	1				17
大阪府	40	5		2	1	48
兵庫県	29	2		1		32
奈良県	8					8
和歌山県	6					6
近畿地方計	120	9	0	3	1	133
鳥取県	3					3
島根県	4					4
岡山県	10	1				11
広島県	17	3		1		21
山口県	10					10
中国地方計	44	4	0	1	0	49
徳島県	4					4
香川県	5					5
愛媛県	9	1				10
高知県	5					5
四国地方計	23	1	0	0	0	24
福岡県	28	3		1		32
佐賀県	7					7
長崎県	7					7
熊本県	10	1				11
大分県	9					9
宮崎県	9					9
鹿児島県	10					10
沖縄県	7					7
九州地方計	87	4	0	1	0	92
合計	699	45	5	9	1	759

(注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサル ランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

2. 店舗の出退店等の状況（当第2四半期まで（4月～9月））

	出店		閉店
		内 移転・建替	
洋服の青山	2	2	5
ザ・スーツカンパニー	0	0	2
ユニバーサル ランゲージ	0	0	1
ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	1	0	1
ホワイト ザ・スーツカンパニー	0	0	1
計	3	2	10